



地域子育て支援だより

2022年度 9月号 久宝まぶねこども園

TEL (072) 992-2033

日中は残暑が続いていますが、夜になると虫の鳴き声が聞こえるようになり、初秋も訪れも感じます。戸外に出る時は、帽子をかぶり、木陰での休息や水分補給をこまめに行い、熱中症に気を付けましょう。新型コロナウイルスの感染者数は若干、落ち着いてきているように感じますが、引き続き、地域開放のプログラムは中止しています。次年度に向けた園見学は再開しましたので、問い合わせをいただいた方から順に日程調整をさせていただきます。新たに園見학을希望される方は園までお問い合わせください。

園庭開放・親子教室のご案内

※しばらくの間、中止します。再開が決まり次第、子育て支援だよりにてお知らせします。
 ※ホームページに子育て支援だよりや給食だより、献立表を掲載しています。



備えて安心

非常持ち出し袋をチェック!

災害に備えて非常持ち出し袋を買って、そのままになっていませんか?
 市販のものは大人用のものなので、お子さんの年齢に合わせて必要なものを補充しておきましょう。
 まずは、1泊2日の旅行の用意をするつもりで考えると、そろえやすいかもしれません。

チェック1

子ども用の持ち出し用品を準備しておこう

乳幼児用の非常持ち出し袋に入れておきたいもの

- おむつ** おむつを卒業していても、慣れない環境でおむつが必要になる場合も。
 - おしりふき**
液体ミルクやレトルトの離乳食・哺乳瓶
数日分あればベスト。
 - 着替え** 少し大きめのものを入れておき、定期的に入れ替えるとムダになりません。
 - おもちゃ** 緊張を和らげてくれます。
 - ミネラルウォーター** 500mlを2~3本。
- おむつやおしりふき、授乳用のケープなどをまとめた「外出用のバッグ」を常時置いておけば、非常時にそのまま使える持ち出し袋になります。



チェック2

持ってみよう

災害時にはベビーカーは使えない場合がほとんど。避難するときは赤ちゃんを抱っこひもで、小さな子どもは手をつないで連れていくことになるので、その状態で非常持ち出し袋を持ってみましょう。安心のためにあれこれ入れても、重くて持てなくてはいけません。無理なく移動できるよう調整しましょう。

チェック3

実際に使ってみよう

非常時に備えて液体ミルクやレトルトの離乳食などを準備していても、食べたことがないと、いざというときに子どもが食べてくれないことがあります。普段から食べさせ、味に慣れておくことで安心です。備蓄品にも、賞味期限があります。大人用の備蓄品もチェックして、期限に近づいたものは食べてみましょう。好みの味や使いやすいものが見つければベストです。